



管理栄養士・栄養士 就業実態調査

(2022 年度・Web 調査) 結果報告



2024 年 1 月 17 日

公益社団法人 日本栄養士会

東京都港区新橋 5-13-5 新橋 MCV ビル 6 階

目次

調査の趣旨、調査方法等	2
結果の概要	4
第 1 章 基本情報調査 結果	6
第 2 章 2022 年度就業者を対象とした調査	9
第 3 章 2022 年度 理由により休業していた方を対象とした調査	20
第 4 章 2022 年度 未就業者を対象とした調査	29
第 5 章 管理栄養士・栄養士の職域と年収との関連	33
考察	36
実態調査ワーキングメンバー	37

1. 調査の趣旨

厚生労働省の発表では、令和3年度の管理栄養士の名簿登録総数は264,181人（12月末）、栄養士免許交付総数は1,132,211人（3月末）、管理栄養士・栄養士免許取得者の累計は約140万人であることが報告されている。現在、管理栄養士・栄養士は多岐にわたる職場で働いているが、就業届出制がないため、免許取得後の就業状況（就業者数、就業先、待遇等）が不明であり、統括的に把握できるシステムの構築が急務である。

近年、管理栄養士、栄養士に対する社会からの期待やニーズが高まり、診療報酬や介護報酬など、プラス改訂に繋がったことは記憶に新しい。また、糖尿病専門だけでなく、がん病態栄養専門管理栄養士など、管理栄養士・栄養士はより専門的にかつ高度な知識が求められるようになった。一方、課題は、その資格の価値や人員配置の意義、配置数の把握に繋げることができていないことである。さらに他分野に焦点を当てると、栄養教諭の配置に関する体制整備が不十分であること、委託給食や保育所をはじめとした管理栄養士・栄養士の雇用の拡大または待遇の改善など、様々な政策に繋げるための方策を検討したいと考えるが、それに対する実態把握が十分にできていない。

したがって、本調査の目的は、管理栄養士・栄養士の社会的役割の明確化、職域別、経験値別、すなわち実力や成果に見合った待遇の評価と改善、および新たな活動領域や雇用先の拡大に繋げるために、データベースを構築することである。

※2018（平成30）年度に、「就業実態調査」を実施したが、専門管理栄養士に関する調査との併用であったため、適切な就業に関する調査ができていないのが現状である。

2. 調査期間

インターネットによるアンケート調査実施期間は、2023年1月10日から3月9日（木）までとした。調査結果に基づく解析・分析作業を2023年度以内とする。

3. 対象および方法

対象は、本調査に協力する意思を示した管理栄養士・栄養士（日本栄養士会の会員）とし、約10,000人を目標とし、質問項目数は最大で50問程度、回答時間は15分程度である。

4. 調査結果の利用方法

調査結果は、日本栄養士会等が開催する研修会・学術集会や、「日本栄養士会雑誌」等の機関誌・学術誌で公表する予定である。

5. プライバシーの保護・情報管理について

本調査では、氏名や勤務先名称などの個人が特定されうる情報の収集を目的としていない（自由記載欄などに記入されることがないように、注意が必要）。なお、インターネット上に入力された電子デ

ータは、日本栄養士会事務局のみが閲覧できるよう、厳重に情報を管理する。また、得られた回答データから統計解析用のデータセット（データベース）を整備し、パスワードロック機能がついた USB メモリに保存し、日本栄養士会事務局にて施錠にて保管する。

また政府統計などと同様に、データベースとしての利活用を促進するため、研究倫理審査の承認を受けていて適切な情報管理と統計解析の計画を行えると日本栄養士会が認める会員に対して、統計解析用データセットの貸与を行う予定である。

6. 調査に参加しないことによる不利益

調査への協力は、完全に自由意思に基づくものであり、協力しないことで不利益を被ることは一切ない。

<本書内の表記について>

- ・回答率（各回答の百分比）は、小数点第2位を四捨五入した。このため、回答率の合算が 100 にならない場合がある。
- ・平均値は章ごとの回答数を母数として算出している。「不明・無回答」はなし。
- ・本文、表、統計表等で用いた記号は主に以下の通りである。
n：その質問に対する回答者数であり、比率算出の基数である。
統計表中の「0」「0.0」：計数はあるが、四捨五入により 0 である場合を示す。

結果の概要

基礎調査

・総回答者数

9,391 名であり、平均年齢 44.1 ± 11.8 歳（中央値：45.0 歳、最高齢 81 歳、最年少 20 歳）であった。管理栄養士のライセンス取得者は 8,915 名（94.9%）、栄養士のみのライセンス取得者は 476 名（5.1%）であった。

・最終学歴

4 年生卒（学士）が 4,978 名（53.0%）と最も多く、短期大学卒者が 2,679 名（28.5%）と 2 番目に多く、一方、大学院卒者（修士課程、博士課程を含む）、823 名（8.8%）であった。

・職域別回答者数

2022 年 12 月時点、仕事に就いていた 8,871 名（94.5%）、仕事をしていなかった、またはいくつかの理由により仕事をしていなかった方が 520 名であった。就業者 8,871 名を対象に、7 つの職域ごとの回答者数は、医療 3,053 名、福祉 2,283 名、公衆衛生 1,186 名、学校健康教育 632 名、研究教育 538 名、フリーランス（地域活動、勤労者支援を含む）1,179 名であった。

・雇用形態および就業年数

主たる勤務先での、雇用形態は常勤 7,383 名、非常勤、アルバイト等 1,488 名であった。また、管理栄養士としての手当がついていた方は 3,917 名（44.2%）、ついていなかったおよび不明の方は 4,954 名（55.6%）であった。勤務先での就業年数の平均は 11.6 ± 10.1 年（中央値 8.0 年）、最高年数 52 年、最小年数は 1 年未満であった。

・1 週間あたりの勤務日数

平均 4.9 ± 0.9 日（中央値 5.0 日）、労働時間は平均 30.2 ± 15.2 時間（中央値 38.5 時間）であり、最大として 7 日間勤務、80 時間勤務の方がいた。1 週間あたりの超過勤務時間は平均 3.8 ± 6.4 時間（中央値 1.5 時間）であった。

・主たる勤務先（同部署）にて就労している管理栄養士・栄養士の人数（本人を含む）

1 人のみが 2,906 名（32.8%）が最も多く、次いで 2～3 人が 2,793 名であり、平均 4.4 ± 5.9 名（中央値 2.0 名）であった。

・認定資格およびその手当

日本栄養士会認定資格（認定管理栄養士など）の有資格者は平均 424 ± 25 人（4.8%）であり、うち手当がついていたと回答したものは、平均 19 ± 17 人（全体の 0.2%、取得者の 4.3%）と極めて低かった。

・主たる勤務先（給与支払元）の収入（副業、兼業等を除く）

300 万円～350 万円未満と回答した方が最も多く 1,208 名（13.5%）であり、次いで 350 万円～400 万円未満、400 万円～450 万円未満の順であり、全体の 36.5%を占めた。

・仕事への満足度調査

仕事そのものに対して「満足」「どちらかという満足」と回答した方は 4,749 名（53.6%）、「不満」「どちらかという不満」と回答した方は 1,852 名（20.9%）であった。また、離職意向について、「転職するつもりはない」と回答した方は 4,323 名（48.7%）、転職を希望している方が 4,548 名（51.3%）と半数を超えていた。

職域と年収との関係

・職域別の年収の平均金額

常勤、収入情報が有効であった者 6,961 人を対象に、区間カテゴリを中間値とし、年齢調整にて解析した結果、「1.医療（99 床以下の病院）」と比べ、保健衛生の職域（「14.保健衛生（都道府県：本庁、保健所、保健福祉事務所）」～「18.保健衛生（健康保険組合、全国健康保険協会）」、教育・研究職（「20.教育（小・中学校・特別支援学校など 栄養教諭）」～「28.学術・研究機関」。「19.教育（幼稚園）」は除く）で、統計学的に有意に高かった。また同じ医療の職域において、病床数が多くなるごとに年収が高くなっていた。

※職にはついているが、様々な理由により 2022 年 12 月は全日休業していた方、職に就いていなかった方については、それぞれ 300 名ほどであったため、今回の解析からは除外した。

第1章 基本情報調査 【9,391名の回答】

設問1 勤務先の都道府県を選択してください

	n	%		n	%
1.北海道	467	5.0	25.滋賀県	106	1.1
2.青森県	101	1.1	26.京都府	194	2.1
3.岩手県	117	1.2	27.大阪府	452	4.8
4.宮城県	149	1.6	28.兵庫県	401	4.3
5.秋田県	76	0.8	29.奈良県	116	1.2
6.山形県	103	1.1	30.和歌山県	60	0.6
7.福島県	193	2.1	31.鳥取県	51	0.5
8.茨城県	187	2.0	32.島根県	118	1.3
9.栃木県	150	1.6	33.岡山県	225	2.4
10.群馬県	192	2.0	34.広島県	193	2.1
11.埼玉県	341	3.6	35.山口県	98	1.0
12.千葉県	275	2.9	36.徳島県	61	0.6
13.東京都	879	9.4	37.香川県	74	0.8
14.神奈川県	591	6.3	38.愛媛県	93	1.0
15.新潟県	312	3.3	39.高知県	56	0.6
16.富山県	91	1.0	40.福岡県	442	4.7
17.石川県	107	1.1	41.佐賀県	62	0.7
18.福井県	112	1.2	42.長崎県	188	2.0
19.山梨県	101	1.1	43.熊本県	180	1.9
20.長野県	221	2.4	44.大分県	134	1.4
21.岐阜県	127	1.4	45.宮崎県	76	0.8
22.静岡県	305	3.2	46.鹿児島県	169	1.8
23.愛知県	428	4.6	47.沖縄県	97	1.0
24.三重県	100	1.1	48.海外・その他	14	0.1

設問2 取得されている免許の種類をお答えください

	n	%
1.栄養士のみ	476	5.1
2.栄養士および管理栄養士	8,915	94.9

設問3 生誕の西暦をお答えください

	n	%
1993 年～2002 年	1,309	13.9
1983 年～1992 年	2,221	23.7
1973 年～1982 年	2,670	28.4
1963 年～1972 年	2,240	23.9
1953 年～1962 年	838	8.9
～1952 年	113	1.2

設問4 年齢をお答えください

	n	%			
20～29 歳	1,287	13.7		最大値	81 歳
30～39 歳	2,216	23.6		最小値	20 歳
40～49 歳	2,664	28.4		平均値	44.1 歳
50～59 歳	2,259	24.1		SD	11.8
60～69 歳	849	9.0		中央値	45.0 歳
70 歳以上	116	1.2			

設問5 性別をお答えください

	n	%
1.男性	540	5.8
2.女性	8,746	93.1
3.答えたくない	105	1.1

設問6 配偶者（事実婚を含む）の有無をお答えください

	n	%
1.あり	6,091	64.9
2.なし	3,300	35.1

設問7 お子さんの人数をお答えください

	n	%
0 人	3,938	41.9
1 人	1,364	14.5
2 人	2,924	31.1
3 人	1,048	11.2
4 人	98	1.0
5 人	19	0.2

設問 8 最終学歴をお答えください

	n	%
1.専門学校	756	8.1
2.短期大学	2,679	28.5
3.専攻科	155	1.7
4.大学	4,978	53.0
5.大学院（修士・博士前期）	616	6.6
6.大学院（博士・博士後期）	207	2.2

設問 9 修士以上の学位取得についてお答えください

	n	%
1.修士取得	958	10.2
2.博士取得	251	2.7
3.取得なし	8,182	87.1

設問 10 昨年 12 月（2022 年 12 月）に仕事をしましたか。もっともあてはまる状況を 1 つお選びください

	n	%
1. 仕事をしていた	8,871	94.5
2. 職にはついているが、出産・育児のため 2022 年 12 月は全日休業していた	216	2.3
3. 職にはついているが、出産・育児以外の理由で 2022 年 12 月は全日仕事をしていなかった	71	0.8
4. 職についていなかった	233	2.5

※ここで「仕事をしていた」とは月に 1 時間以上仕事をしていた場合を言います。

※仕事とは、収入をとまなう仕事をいい、自家営業（個人経営の商店や農業など）の手伝いや内職も含めます。

※「仕事を休んでいた」とは、雇われていた、もしくは自分で営む事業や仕事があったが、少しも仕事をしなかった場合を言います。

※「仕事を探していた（開業準備を含む）」には、以前に求職活動をして、その結果を待っている場合も含めます。

第2章 設問10にて「1. 仕事をしていた（就業者）」方を対象とした調査結果 【8,871名の回答】

設問11 主たる勤務先（給与支払元）をお答えください

複数勤務の場合は主たる勤務先〔最も収入額の高いもの〕を選択してください

	n	%		n	%
1.医療（99床以下の病院）	468	5.3	20.教育（小・中学校・特別支援学校など 栄養教諭）	409	4.6
2.医療（100～199床の病院）	753	8.5	21.教育（小・中学校・特別支援学校など 学校栄養職員 市町村採用含む）	144	1.6
3.医療（200～299床の病院）	405	4.6	22.教育（教育委員会 指導主事）	10	0.1
4.医療（300～399床の病院）	323	3.6	23.教育（教育委員会 行政職員）	49	0.6
5.医療（400～499床の病院）	199	2.2	24.教育（高等学校 学校栄養職員）	7	0.1
6.医療（500床以上の病院）	455	5.1	25.栄養士養成（短大、専門学校）	121	1.4
7.医療（診療所、クリニック、健診センターなど）	423	4.8	26.栄養士及び管理栄養士養成（大学、大学院）	301	3.4
8.医療（歯科診療所など）	27	0.3	27.栄養士養成以外の専門学校、短期大学、大学、大学院	93	1.0
9.福祉（介護保険関連の施設〔特養、老健など〕、事業所〔通所など〕、高齢者福祉施設）	1,657	18.7	28.学術・研究機関	23	0.3
10.福祉（障害者福祉関連の施設）	237	2.7	29.フリーランス（認定栄養 CS、自営、起業）	156	1.8
11.福祉（保育所、認定こども園、児童福祉施設など）	389	4.4	30.フリーランス（自営、起業以外）	115	1.3
12.受託給食会社	252	2.8	31.食品企業	83	0.9
13.直営の社員食堂や寮などの給食施設（自衛隊、矯正施設を含む）	35	0.4	32.製薬企業	12	0.1
14.保健衛生（都道府県：本庁、保健所、保健福祉事務所）	250	2.8	33.薬局・ドラッグストア	173	2.0
15.保健衛生（保健所設置市・特別区：本庁、保健所）	170	1.9	34.スポーツ関連施設	28	0.3
16.保健衛生（市町村：本庁、保健センター）	719	8.1	35.非営利団体（公益活動などの団体）	59	0.7
17.保健衛生（地方衛生研究所、健康増進施設など）	20	0.2	36.情報サービス（新聞、出版、インターネットサービスなど）	15	0.2
18.保健衛生（健康保険組合、全国健康保険協会）	27	0.3	37.飲食サービス（食堂、飲食店、惣菜など・メニュー開発、配食サービスなど）	46	0.5
19.教育（幼稚園）	13	0.1	38.その他	205	2.3

設問 1 2 主たる勤務先の分類をお答えください

	n	%
1.国立・公立、半官半民（独立行政法人など）	3,082	34.7
2.私立・民間	4,813	54.3
3.個人（自営業）	569	6.4
4.その他	407	4.6

設問 1 3 主たる勤務先において、採用の際、条件にどの免許の取得が必要でしたか？

	n	%
1.管理栄養士の免許が必要	6,522	73.5
2.栄養士の免許のみ必要	1,865	21.0
3.どちらも必要ない	377	4.2
4.不明	107	1.2

設問 1 4 主たる勤務先で、管理栄養士としての手当がついていたか？

（栄養士採用の方は、「ついていなかった」を選択してください）

	n	%
1.ついていた	3,917	44.2
2.ついていなかった	4,189	47.2
3.わからない	765	8.6

設問 1 5 主たる勤務先での経験年数をお答えください

	n	%			
3 年未満	1,631	18.4		最大値	52 年
3 年から 6 年	2,134	24.1		最小値	1 年未満
7 年から 10 年	1,352	15.2		平均値	11.6 年
11 年から 20 年	2,048	23.1		SD	10.1
21 年から 30 年	1,174	13.2		中央値	8.0 年
31 年以上	532	6.0			

設問 1 6 管理栄養士または栄養士の免許が求められる業務に従事した通算経験年数をお答えください

	n	%			
3 年未満	611	6.9		最大値	58 年
3 年から 6 年	1,093	12.3		最小値	1 年未満
7 年から 10 年	1,145	12.9		平均値	17.7 年
11 年から 20 年	2,620	29.5		SD	11.1
21 年から 30 年	2,225	25.1		中央値	17.0 年
31 年以上	1,177	13.3			

設問 17 主たる勤務先での雇用形態をお答えください

	n	%
1.常勤	7,383	83.2
2.非常勤	559	6.3
3.派遣・契約社員	204	2.3
4.アルバイト・パート	531	6.0
5.その他	194	2.2

設問 18 主たる勤務先での職位をお答えください

	n	%
1.一般職	6,811	76.8
2.管理職（部、課、科などの部署を統括する長であり、部下の人事評価に携わっている者）	1,905	21.5
3.代表者（事業主、代表取締役、社長、施設長、理事長など）	155	1.7

設問 19 1週間あたりの平均勤務日数をお答えください（0.5 日刻み、兼業含む）

	n	%			
1 日以下	126	1.4		最大値	7 日
1.5 日から 2 日以下	176	2.0		最小値	0.5 日
2.5 日から 3 日以下	236	2.7		平均値	4.9 日
3.5 日から 4 日以下	392	4.4		SD	0.9
4.5 日	207	2.3		中央値	5.0 日
5 日	6,467	72.9			
5.5 日から 6 日以下	1,148	12.9			
6.5 日	67	0.8			
7 日	52	0.6			

設問 20 1週間あたりの所定労働時間をお答えください（0.5 日刻み、兼業含む）

	n	%			
5.5 時間以下	272	3.1		最大値	80 時間
6 時間から 9.5 時間以下	1,993	22.5		最小値	0.5 時間
10 時間から 19.5 時間以下	362	4.1		平均値	30.2 時間
20 時間から 29.5 時間以下	264	3.0		SD	15.2
30 時間から 39.5 時間以下	1,989	22.4		中央値	38.5 時間
40 時間から 49.5 時間以下	3,703	41.7			
50 時間から 59.5 時間以下	208	2.3			
60 時間から 69.5 時間以下	55	0.6			
70 時間以上	25	0.3			

設問 2 1 1 週間あたりの超過勤務時間をお答えください（0.5 日刻み、兼業含む）

裁量労働制の場合は所定労働時間以外の時間をお答えください

	n	%			
5.5 時間以下	4,168	47.0		最大値	60 時間
6 時間から 9.5 時間以下	769	8.7		最小値	0 時間
10 時間から 19.5 時間以下	845	9.5		平均値	3.8 時間
20 時間から 29.5 時間以下	154	1.7		SD	6.4
30 時間から 39.5 時間以下	71	0.8		中央値	1.5 時間
40 時間から 49.5 時間以下	40	0.5			
50 時間から 59.5 時間以下	15	0.2			
60 時間から 69.5 時間以下	12	0.1			
超過勤務なし	2,797	31.5			

設問 2 2 主たる勤務先（同じ部署）にいる管理栄養士・栄養士数をお答えください（本人を含む）

	n	%			
1 人（本人のみ）	2,906	32.8		最大値	50 人以上
2 人から 3 人	2,793	31.5		最小値	1 人
4 人から 6 人	1,544	17.4		平均値	4.4
7 人から 9 人	640	7.2		SD	5.9
10 人から 19 人	751	8.5		中央値	2.0
20 人から 29 人	124	1.4			
30 人から 39 人	50	0.6			
40 人から 49 人	8	0.1			
50 人以上	55	0.6			

設問 2 3 取得していた認定資格に対する手当についてお答えください

【日本栄養士会認定（登録）資格】

※取得していない資格に関しては「1. この資格は取得していない」を選択してください

※記載の認定資格以外をお持ちの方は、その他 1～3 にチェックの上、資格名称もご回答ください

なお、その他として他にない場合でも、「1.この資格は取得していない」へチェックしてすすんでください

n (%)	取得していない	手当がついていた	手当はついていなかった	わからない
1.8つの分野の認定管理栄養士・認定栄養士（計8項目）	8,440 (95.1)	44 (0.5)	246 (2.8)	141 (1.6)
2.特定保健指導担当管理栄養士	8,150 (91.9)	23 (0.3)	580 (6.5)	118 (1.3)
3.静脈経腸栄養（TNT-D）管理栄養士	8,402 (94.7)	13 (0.1)	392 (4.4)	64 (0.7)
4.在宅訪問管理栄養士	8,427 (95.0)	17 (0.2)	357 (4.0)	70 (0.8)
5.公認スポーツ栄養士	8,635 (97.3)	17 (0.2)	160 (1.8)	59 (0.7)
6.食物アレルギー分野管理栄養士・栄養士	8,675 (97.8)	7 (0.1)	120 (1.4)	69 (0.8)
7.がん病態栄養専門管理栄養士	8,537 (96.2)	11 (0.1)	266 (3.0)	57 (0.6)
8.腎臓病病態栄養専門管理栄養士	8,767 (98.8)	8 (0.1)	36 (0.4)	60 (0.7)
9.糖尿病病態栄養専門管理栄養士	8,685 (97.9)	13 (0.1)	108 (1.2)	65 (0.7)
10.摂食嚥下リハビリテーション栄養専門管理栄養士	8,752 (98.7)	8 (0.1)	52 (0.6)	59 (0.7)
11.在宅栄養専門管理栄養士	8,741 (98.5)	6 (0.1)	64 (0.7)	60 (0.7)
12.JDA-DAT スタッフ	8,027 (90.5)	20 (0.2)	727 (8.2)	97 (1.1)
13.JDA-DAT リーダー	8,402 (94.7)	17 (0.2)	368 (4.1)	84 (0.9)
14-1.その他 1	7,979 (89.9)	73 (0.8)	356 (4.0)	463 (5.2)
14-2.その他 2	8,228 (92.8)	13 (0.1)	143 (1.6)	487 (5.5)
14-3.その他 3	8,294 (93.5)	6 (0.1)	68 (0.8)	503 (5.7)

その他：結果省略

設問2 4 取得していた資格に対する手当についてお答えください【他団体などの認定資格】

※取得していない資格に関しては「1. この資格は取得していない」を選択してください

※記載の認定資格以外をお持ちの方は、その他1～3にチェックの上、資格名称もご回答ください

なお、その他として他にない場合でも、「1.この資格は取得していない」へチェックしてすすんでください

	取得して いない	手当が ついていた	手当は ついて いなかった	わからない
n (%)				
1.栄養教諭	7,672 (86.5)	289 (3.3)	828 (9.3)	82 (0.9)
2.調理師	7,847 (88.5)	43 (0.5)	919 (10.4)	62 (0.7)
3.介護支援専門員	8,198 (92.4)	89 (1.0)	538 (6.1)	45 (0.5)
4.ヘルパー	8,425 (95.0)	19 (0.2)	384 (4.3)	43 (0.5)
5.社会福祉主事	8,653 (97.5)	9 (0.1)	163 (1.8)	46 (0.5)
6.社会福祉士	8,801 (99.2)	7 (0.1)	24 (0.3)	39 (0.4)
7.介護福祉士	8,796 (99.2)	9 (0.1)	27 (0.3)	39 (0.4)
8.臨床検査技師または衛生検査技師	8,724 (98.3)	5 (0.1)	102 (1.1)	40 (0.5)
9.知的障害者福祉司	8,823 (99.5)	1 (0.0)	7 (0.1)	40 (0.5)
10.食品衛生管理者	7,160 (80.7)	43 (0.5)	1,516 (17.1)	152 (1.7)
11.衛生管理者	7,972 (89.9)	40 (0.5)	719 (8.1)	140 (1.6)
12.病態栄養専門管理栄養士	8,142 (91.8)	37 (0.4)	650 (7.3)	42 (0.5)
13.日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士	8,709 (98.2)	7 (0.1)	117 (1.3)	38 (0.4)
14.特定保健指導員	8,301 (93.6)	47 (0.5)	421 (4.7)	102 (1.1)
15.NST 専門療法士	7,952 (89.6)	81 (0.9)	798 (9.0)	40 (0.5)
16.臨床栄養師	8,746 (98.6)	4 (0.0)	80 (0.9)	41 (0.5)
17.日本糖尿病療養指導士	7,957 (89.7)	98 (1.1)	773 (8.7)	43 (0.5)
18.腎臓病療養指導士	8,759 (98.7)	8 (0.1)	66 (0.7)	38 (0.4)
19.サルコペニア・フレイル指導士	8,805 (99.3)	1 (0.0)	26 (0.3)	39 (0.4)
20.リハビリテーション栄養指導士	8,814 (99.4)	0 (0)	18 (0.2)	39 (0.4)
21.心臓リハビリテーション指導士	8,821 (99.5)	0 (0)	8 (0.1)	42 (0.5)
22.腎臓リハビリテーション指導士	8,823 (98.4)	1 (0.0)	7 (0.1)	40 (0.5)
23.臨床栄養代謝専門療養士	8,727 (98.4)	3 (0.0)	101 (1.1)	40 (0.5)
24.健康運動指導士	8,339 (94.0)	29 (0.3)	457 (5.2)	46 (0.5)
25.健康運動実践指導者	8,731 (98.4)	2 (0.0)	94 (1.1)	44 (0.5)
26.NR・サプリメントアドバイザー	8,582 (96.7)	10 (0.1)	229 (2.6)	50 (0.6)
27.小児アレルギーエデュケーター	8,815 (99.4)	3 (0.0)	15 (0.2)	38 (0.4)
28.アレルギー疾患療養指導士	8,814 (99.4)	0 (0)	18 (0.2)	39 (0.4)
29.栄養経営士	8,603 (97.0)	5 (0.1)	221 (2.5)	42 (0.5)
30.フードコーディネーター	8,533 (96.2)	10 (0.1)	282 (3.2)	46 (0.5)

31.フードスペシャリスト	8,073 (91.0)	15 (0.2)	731 (8.2)	52 (0.6)
32-1.その他 1	7,988 (90.0)	49 (0.6)	455 (5.1)	379 (4.3)
32-2.その他 2	8,357 (94.2)	5 (0.1)	120 (1.4)	389 (4.4)
32-3.その他 3	8,437 (95.1)	6 (0.1)	38 (0.4)	390 (4.4)

その他：結果省略

**設問 2 5 昨年 1 年間（2022 年 1 ～12 月）の主たる勤務先（給与支払元）での収入をお答えください
（税込みの実績。源泉徴収表の「支払金額」の欄に記載されている社会保険料・源泉所得税・その他の
控除が引かれる前の総支給額）**

※賞与・ボーナスは含めてお答えください

※副業・兼業からの収入または不動産収入・年金・仕送り・公的な給付金は含めないでください

	n	%
1. 収入はない	12	0.1
2. 1 円～50 万円未満	322	3.6
3. 50 万円～100 万円未満	342	3.9
4. 100 万円～150 万円未満	252	2.8
5. 150 万円～200 万円未満	298	3.4
6. 200 万円～250 万円未満	495	5.6
7. 250 万円～300 万円未満	742	8.4
8. 300 万円～350 万円未満	1,208	13.5
9. 350 万円～400 万円未満	1,035	11.7
10. 400 万円～450 万円未満	1,002	11.3
11. 450 万円～500 万円未満	568	6.4
12. 500 万円～550 万円未満	514	5.8
13. 550 万円～600 万円未満	313	3.5
14. 600 万円～650 万円未満	360	4.1
15. 650 万円～700 万円未満	241	2.7
16. 700 万円～750 万円未満	252	2.8
17. 750 万円～800 万円未満	157	1.8
18. 800 万円～900 万円未満	153	1.7
19. 900 万円～1000 万円未満	63	0.7
20. 1000 万円以上	51	0.6
21. 分からない	143	1.6
22. 答えたくない	348	3.9

設問 2 6 昨年 12 月（2022 年 12 月）以前に転職（勤務先の変更）をした経験はありましたか？
（関連施設への移動・異動は含まない）

	n	%
1. あった	4,881	55.0
2. なかった	3,990	45.0

設問 2 7 設問 2 6 の質問に対して、どこに就職されていましたか？

* 複数回答の組み合わせにより省略

設問 2 8 ご自身の生活費のまかない方について

昨年 1 年間（2022 年 1～12 月）、あなたご本人の生活費のまかない方について、どれが最も近いですか？

	n	%
1. 自分の仕事からの収入だけでまかなった	3,238	36.5
2. 自分や配偶者の仕事からの収入だけでまかなった	4,703	53.0
3. 自分や配偶者の仕事からの収入だけでは不十分で、仕事以外からの収入（家賃収入、配当金、年金、失業給付、育児休業給付など）や預貯金を切り崩してまかなった	454	5.1
4. 自分や配偶者の仕事からの収入だけでは不十分で、親や子どもからの援助（住居や食事などの現物の援助を含む）でまかなった	454	5.1
5. 自分や配偶者の仕事からの収入だけでは不十分で、公的な援助（生活保護など。現物の援助を含む）でまかなった	22	0.2

設問 2 9 生活満足度について

昨年 1 年間（2022 年 1～12 月）のあなたの生活全般について、どの程度満足していましたか？

	n	%
1. 満足していた	1,362	15.4
2. まあ満足していた	4,156	46.8
3. どちらともいえない	1,945	21.9
4. どちらかといえば不満であった	1,039	11.7
5. 不満であった	369	4.2

設問 3 0 これまでの学会・研修会などでの発表経験（筆頭）をお答えください

	n	%
1. 0 回	5,072	57.2
2. 1～5 回	2,777	31.3
3. 6 回以上	1,022	11.5

設問 3 1 これまでの査読付き雑誌への論文掲載（筆頭）をお答えください
（日本栄養士会雑誌や学会誌、学術誌など）

	n	%
1. 0 回	8,003	90.2
2. 1～3 回	660	7.4
3. 4 回以上	208	2.3

設問 3 2 これまでの栄養関連の雑誌への原稿掲載（筆頭）をお答えください

	n	%
1. 0 回	7,599	85.7
2. 1～3 回	967	10.9
3. 4 回以上	305	3.4

設問 3 3 ワークライフバランス(WLB)について

昨年 1 年間（2022 年 1～12 月）、ご自分の仕事と家庭生活の両立についてストレスを感じましたか？

	n	%
1.強く感じていた	1,823	20.6
2.感じていた	2,365	26.7
3.少し感じていた	3,085	34.8
4.感じていなかった	1,295	14.6
5.全く感じていなかった	303	3.4

設問 3 4 仕事への満足度について(1)

昨年 1 年間（2022 年 1～12 月）、あなたは仕事そのものに満足していましたか？

	n	%
1.あてはまる（満足）	965	10.9
2.どちらかというにあてはまる（どちらかという満足）	3,784	42.7
3.どちらともいえない	2,270	25.6
4.どちらかというにあてはまらない（どちらかという不満）	1,315	14.8
5.あてはまらない（不満）	537	6.1

設問 3 5 仕事への満足度について(2)(仕事を通じて、「成長している」という実感を持っていた)

昨年 1 年間（2022 年 1～12 月）、あなたは仕事を通じて「成長している」という実感を持っていましたか？

	n	%
1.あてはまる（「成長している」という実感あり）	1,413	15.9
2.どちらかというにあてはまる（どちらかという実感あり）	3,612	40.7
3.どちらともいえない	2,349	26.5
4.どちらかというにあてはまらない（どちらかという実感なし）	981	11.1
5.あてはまらない（実感なし）	516	5.8

設問3 6 離職意向について

あなたは今後、転職（会社や団体を変えること）することを考えていますか？

	n	%
1.現在転職したいと考えており、転職活動をしている	663	7.5
2.現在転職したいと考えているが、転職活動はしていない	1,274	14.4
3.いずれ転職したいと思っている	2,611	29.4
4.転職するつもりはない	4,323	48.7

設問3 7 働きがい（ワークエンゲイジメント）について：

次の3つの質問文は、仕事に関してどう感じているかを記述したものです。各文をよく読んで、あなたが仕事に関してそのように感じているかどうかを判断してください。そのように感じたことが一度もない場合は、選択肢0を、感じたことがある場合はその頻度に当てはまる数字（1から6）を、選択してください

(1)仕事をしていると、活力がみなぎるように感じる（活力）

	n	%
0.全くない（0回）	627	7.1
1.ほとんど感じない（1年に数回以下）	1,069	12.1
2.めったに感じない（1ヶ月に1回以下）	1,418	16.0
3.時々感じる（1ヶ月に数回）	3,423	38.6
4.よく感じる（1週間に1回）	1,192	13.4
5.とてもよく感じる（1週間に数回）	760	8.6
6.いつも感じる（毎日）	382	4.3

(2)仕事に熱心である（熱意）

	n	%
0.全くない（0回）	312	3.5
1.ほとんど感じない（1年に数回以下）	569	6.4
2.めったに感じない（1ヶ月に1回以下）	972	11.0
3.時々感じる（1ヶ月に数回）	3,176	35.8
4.よく感じる（1週間に1回）	1,787	20.1
5.とてもよく感じる（1週間に数回）	1,257	14.2
6.いつも感じる（毎日）	798	9.0

(3)私は仕事にのめり込んでいる（没頭）

	n	%
0.全くない（0回）	779	8.8
1.ほとんど感じない（1年に数回以下）	1,078	12.2
2.めったに感じない（1ヶ月に1回以下）	1,783	20.1
3.時々感じる（1ヶ月に数回）	2,661	30.0
4.よく感じる（1週間に1回）	1,257	14.2
5.とてもよく感じる（1週間に数回）	855	9.6
6.いつも感じる（毎日）	458	5.2

第3章 設問10にて「2. 職にはついているが、出産・育児のため2022年12月は全日休業していた」、「3. 職にはついているが、出産・育児以外の理由で2022年12月は全日仕事をしていなかった」方を対象とした調査結果 【287名の回答】

設問11 主たる勤務先(給与支払元)をお答えください

複数勤務の場合は主たる勤務先〔最も収入額の高いもの〕を選択してください

	n	%		n	%
1.医療（99床以下の病院）	13	4.5	20.教育（小・中学校・特別支援学校など 栄養教諭）	18	6.3
2.医療（100～199床の病院）	28	9.8	21.教育（小・中学校・特別支援学校など 学校栄養職員 市町村採用含む）	7	2.4
3.医療（200～299床の病院）	17	5.9	22.教育（教育委員会 指導主事）	0	0
4.医療（300～399床の病院）	8	2.8	23.教育（教育委員会 行政職員）	2	0.7
5.医療（400～499床の病院）	14	4.9	24.教育（高等学校 学校栄養職員）	1	0.3
6.医療（500床以上の病院）	16	5.6	25.栄養士養成（短大、専門学校）	0	0
7.医療（診療所、クリニック、健診センターなど）	12	4.2	26.栄養士及び管理栄養士養成（大学、大学院）	3	1.0
8.医療（歯科診療所など）	0	0	27.栄養士養成以外の専門学校、短期大学、大学、大学院	0	0
9.福祉（介護保険関連の施設〔特養、老健など〕、事業所〔通所など〕、高齢者福祉施設）	40	13.9	28.学術・研究機関	0	0
10.福祉（障害者福祉関連の施設）	9	3.1	29.フリーランス（認定栄養 CS、自営、起業）	5	1.7
11.福祉（保育所、認定こども園、児童福祉施設など）	11	3.8	30.フリーランス（自営、起業以外）	4	1.4
12.受託給食会社	8	2.8	31.食品企業	2	0.7
13.直営の社員食堂や寮などの給食施設（自衛隊、矯正施設を含む）	3	1.0	32.製菓企業	0	0
14.保健衛生（都道府県：本庁、保健所、保健福祉事務所）	13	4.5	33.薬局・ドラッグストア	7	2.4
15.保健衛生（保健所設置市・特別区：本庁、保健所）	5	1.7	34.スポーツ関連施設	1	0.3
16.保健衛生（市町村：本庁、保健センター）	26	9.1	35.非営利団体（公益活動などの団体）	1	0.3
17.保健衛生（地方衛生研究所、健康増進施設など）	1	0.3	36.情報サービス（新聞、出版、インターネットサービスなど）	1	0.3
18.保健衛生（健康保険組合、全国健康保険協会）	2	0.7	37.飲食サービス（食堂、飲食店、惣菜など・メニュー開発、配食サ	1	0.3

			ービスなど)		
19.教育（幼稚園）	0	0	38.その他	8	2.8

設問 1 2 主たる勤務先の分類をお答えください

	n	%
1.国立・公立、半官半民（独立行政法人など）	114	39.7
2.私立・民間	134	46.7
3.個人（自営業）	27	9.4
4.その他	12	4.2

設問 1 3 主たる勤務先において、採用の際、条件にどの免許の取得が必要でしたか？

	n	%
1.管理栄養士の免許が必要	211	73.5
2.栄養士の免許のみ必要	54	18.8
3.どちらも必要ない	21	7.3
4.不明	1	0.3

設問 1 4 主たる勤務先で、管理栄養士としての手当がついていたか？

（栄養士採用の方は、「ついていなかった」を選択してください）

	n	%
1.ついていた	130	45.3
2.ついていなかった	136	47.4
3.わからない	21	7.3

設問 1 5 主たる勤務先での経験年数をお答えください

	n	%			
3 年未満	46	16.0		最大値	34 年
3 年から 6 年	95	33.1		最小値	1 年未満
7 年から 10 年	81	28.2		平均値	7.5 年
11 年から 20 年	61	21.3		SD	5.1
21 年から 30 年	2	0.7		中央値	7 年
31 年以上	2	0.7			

設問 1 6 管理栄養士または栄養士の免許が求められる業務に従事した通算経験年数をお答えください

	n	%			
3 年未満	23	8.0		最大値	40 年
3 年から 6 年	59	20.6		最小値	1 年未満
7 年から 10 年	84	29.3		平均値	10.7 年
11 年から 20 年	105	36.6		SD	6.7
21 年から 30 年	9	3.1		中央値	10 年
31 年以上	7	2.4			

設問 1 7 主たる勤務先での雇用形態をお答えください

	n	%
1.常勤	256	88.9
2.非常勤	5	1.7
3.派遣・契約社員	6	2.1
4.アルバイト・パート	13	4.5
5.その他	7	2.4

設問 1 8 主たる勤務先での職位をお答えください

	n	%
1.一般職	249	86.8
2.管理職（部、課、科などの部署を統括する長であり、部下の人事評価に携わっている者）	34	11.8
3.代表者（事業主、代表取締役、社長、施設長、理事長など）	4	1.4

設問 1 9 1 週間あたりの平均勤務日数をお答えください（0.5 日刻み、兼業含む）

	n	%			
1 日以下	8	2.8		最大値	7 日
1.5 日から 2 日以下	3	1.0		最小値	0.5 日
2.5 日から 3 日以下	3	1.0		平均値	4.9 日
3.5 日から 4 日以下	5	1.7		SD	0.9
4.5 日	3	1.0		中央値	5 日
5 日	228	79.4			
5.5 日から 6 日以下	32	11.1			
6.5 日	0	0.0			
7 日	5	1.7			

設問 2 0 1 週間あたりの所定労働時間をお答えください（0.5 日刻み、兼業含む）

	n	%			
5.5 時間以下	8	2.8		最大値	55.5 時間
6 時間から 9.5 時間以下	90	31.4		最小値	0.5 時間
10 時間から 19.5 時間以下	2	0.7		平均値	28.1 時間
20 時間から 29.5 時間以下	3	1.0		SD	15.5
30 時間から 39.5 時間以下	71	24.7		中央値	37.5 時間
40 時間から 49.5 時間以下	108	37.6			
50 時間から 59.5 時間以下	5	1.7			

設問 2 1 1 週間あたりの超過勤務時間をお答えください（0.5 日刻み、兼業含む）

裁量労働制の場合は所定労働時間以外の時間をお答えください

	n	%			
5.5 時間以下	143	49.8		最大値	40.5 時間
6 時間から 9.5 時間以下	16	5.6		最小値	0 時間
10 時間から 19.5 時間以下	16	5.6		平均値	2.5 時間
20 時間から 29.5 時間以下	2	0.7		SD	4.1
40 時間から 49.5 時間以下	1	0.3		中央値	1 時間
超過勤務なし	109	38.0			

設問 2 2 主たる勤務先（同じ部署）にいる管理栄養士・栄養士数をお答えください（本人を含む）

	n	%			
1 人（本人のみ）	76	26.5		最大値	50 人以上
2 人から 3 人	98	34.1		最小値	1 人
4 人から 6 人	51	17.8		平均値	5.0 人
7 人から 9 人	20	7.0		SD	7.0
10 人から 19 人	31	10.8		中央値	3.0 人
20 人から 29 人	6	2.1			
30 人から 39 人	1	0.3			
50 人以上	4	1.4			

設問2-3 取得していた認定資格に対する手当についてお答えください

【日本栄養士会認定（登録）資格】

※取得していない資格に関しては「1. この資格は取得していない」を選択してください

※記載の認定資格以外をお持ちの方は、その他1～3にチェックの上、資格名称もご回答ください

なお、その他として他にない場合でも、「1.この資格は取得していない」へチェックしてすすんでください

n (%)	取得していない	手当がついて いた	手当はついて いなかった	わからない
1.8つの分野の認定管理栄養士・ 認定栄養士（計8項目）	270 (94.1)	4 (1.4)	6 (2.1)	7 (2.4)
2.特定保健指導担当管理栄養士	273 (95.1)	0 (0)	9 (3.1)	5 (1.7)
3.静脈経腸栄養（TNT-D）管理栄養士	273 (95.1)	1 (0.3)	11 (3.8)	2 (0.7)
4.在宅訪問管理栄養士	274 (95.5)	1 (0.3)	9 (3.1)	3 (1.0)
5.公認スポーツ栄養士	279 (97.2)	1 (0.3)	5 (1.7)	2 (0.7)
6.食物アレルギー分野管理栄養士・ 栄養士	277 (96.5)	8 (2.8)	2 (0.7)	2 (0.7)
7.がん病態栄養専門管理栄養士	280 (97.6)	0 (0)	5 (1.7)	2 (0.7)
8.腎臓病病態栄養専門管理栄養士	285 (99.3)	0 (0)	0 (0)	2 (0.7)
9.糖尿病病態栄養専門管理栄養士	283 (98.6)	0 (0)	2 (0.7)	2 (0.7)
10.摂食嚥下リハビリテーション 栄養専門管理栄養士	284 (99.0)	0 (0)	1 (0.3)	2 (0.7)
11.在宅栄養専門管理栄養士	282 (98.3)	1 (0.3)	2 (0.7)	2 (0.7)
12.JDA-DAT スタッフ	271 (94.4)	0 (0)	14 (4.9)	2 (0.7)
13.JDA-DAT リーダー	277 (96.5)	0 (0)	7 (2.4)	3 (1.0)
14-1.その他1	256 (89.2)	2 (0.7)	8 (2.8)	21 (7.3)
14-2.その他2	263 (91.6)	0 (0)	4 (1.4)	20 (7.0)
14-3.その他3	266 (92.7)	0 (0)	1 (0.3)	20 (7.0)

その他：結果省略

設問2 4 取得していた資格に対する手当についてお答えください【他団体などの認定資格】

※取得していない資格に関しては「1. この資格は取得していない」を選択してください

※記載の認定資格以外をお持ちの方は、その他1～3にチェックの上、資格名称もご回答ください

なお、その他として他にない場合でも、「1.この資格は取得していない」へチェックしてすんでください

	取得して いない n (%)	手当が ついていた	手当は ついて いなかった	わからない
1.栄養教諭	212 (73.9)	11 (3.8)	62 (21.6)	2 (0.7)
2.調理師	265 (92.3)	2 (0.7)	16 (5.6)	4 (1.4)
3.介護支援専門員	275 (95.8)	3 (1.0)	7 (2.4)	2 (0.7)
4.ヘルパー	279 (97.2)	0 (0)	6 (2.1)	2 (0.7)
5.社会福祉主事	281 (97.9)	0 (0)	4 (1.4)	2 (0.7)
6.社会福祉士	285 (99.3)	0 (0)	0 (0)	2 (0.7)
7.介護福祉士	283 (98.6)	1 (0.3)	1 (0.3)	2 (0.7)
8.臨床検査技師または衛生検査技師	285 (99.3)	0 (0)	0 (0)	2 (0.7)
9.知的障害者福祉司	285 (99.3)	0 (0)	0 (0)	2 (0.7)
10.食品衛生管理者	195 (67.9)	4 (1.4)	80 (27.9)	8 (2.8)
11.衛生管理者	242 (84.3)	4 (1.4)	34 (11.8)	7 (2.4)
12.病態栄養専門管理栄養士	265 (92.3)	2 (0.7)	18 (6.3)	2 (0.7)
13.日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士	282 (98.3)	0 (0)	3 (1.0)	2 (0.7)
14.特定保健指導員	273 (95.1)	0 (0)	9 (3.1)	5 (1.7)
15.NST 専門療法士	256 (89.2)	7 (2.4)	21 (7.3)	3 (1.0)
16.臨床栄養師	284 (99.0)	0 (0)	1 (0.3)	2 (0.7)
17.日本糖尿病療養指導士	251 (87.5)	3 (1.0)	30 (10.5)	3 (1.0)
18.腎臓病療養指導士	284 (99.0)	0 (0)	1 (0.3)	2 (0.7)
19.サルコペニア・フレイル指導士	283 (98.6)	0 (0)	2 (0.7)	2 (0.7)
20.リハビリテーション栄養指導士	285 (99.3)	0 (0)	0 (0)	2 (0.7)
21.心臓リハビリテーション指導士	285 (99.3)	0 (0)	0 (0)	2 (0.7)
22.腎臓リハビリテーション指導士	285 (99.3)	0 (0)	0 (0)	2 (0.7)
23.臨床栄養代謝専門療養士	281 (97.9)	0 (0)	4 (1.4)	2 (0.7)
24.健康運動指導士	277 (96.5)	0 (0)	8 (2.8)	2 (0.7)
25.健康運動実践指導者	284 (99.0)	0 (0)	1 (0.3)	2 (0.7)
26.NR・サプリメントアドバイザー	277 (96.5)	0 (0)	7 (2.4)	3 (0.7)
27.小児アレルギーエデュケーター	284 (99.0)	0 (0)	0 (0)	3 (1.0)
28.アレルギー疾患療養指導士	284 (99.0)	0 (0)	1 (0.3)	2 (0.7)
29.栄養経営士	278 (96.9)	3 (1.0)	4 (1.4)	2 (0.7)
30.フードコーディネーター	263 (91.6)	0 (0)	22 (7.7)	2 (0.7)

31.フードスペシャリスト	249 (86.8)	1 (0.3)	34 (11.8)	3 (1.0)
32-1.その他 1	268 (92.7)	0 (0)	10 (3.5)	11 (3.8)
32-2.その他 2	275 (95.8)	0 (0)	0 (0)	12 (4.2)
32-3.その他 3	275 (95.8)	0 (0)	0 (0)	12 (4.2)

設問 2 5 昨年 1 年間（2022 年 1～12 月）の主たる勤務先（給与支払元）での収入をお答えください
（税込みの実績。源泉徴収表の「支払金額」の欄に記載されている社会保険料・源泉所得税・その他の
控除が引かれる前の総支給額）

※賞与・ボーナスは含めてお答えください。

※副業・兼業からの収入または不動産収入・年金・仕送り・公的な給付金は含めないでください。

	n	%
1. 収入はない	38	13.2
2. 1 円～50 万円未満	19	6.6
3. 50 万円～100 万円未満	13	4.5
4. 100 万円～150 万円未満	22	7.7
5. 150 万円～200 万円未満	22	7.7
6. 200 万円～250 万円未満	19	6.6
7. 250 万円～300 万円未満	25	8.7
8. 300 万円～350 万円未満	31	10.8
9. 350 万円～400 万円未満	29	10.1
10. 400 万円～450 万円未満	12	4.2
11. 450 万円～500 万円未満	12	4.2
12. 500 万円～550 万円未満	10	3.5
13. 550 万円～600 万円未満	2	0.7
14. 600 万円～650 万円未満	3	1.0
16. 700 万円～750 万円未満	1	0.3
21. 分からない	21	7.3
22. 答えたくない	8	2.8

設問 2 6 昨年 12 月（2022 年 12 月）以前に転職（勤務先の変更）をした経験はありましたか？
（関連施設への移動・異動は含まない）

	n	%
1. あった	144	50.2
2. なかった	143	49.8

設問 2 7 設問 2 6 の質問に対して、どこに就職されていましたか？

* 複数回答の組み合わせにより省略

設問 2 8 ご自身の生活費のまかない方について

昨年 1 年間（2022 年 1～12 月）、あなたご本人の生活費のまかない方について、どれが最も近いですか？

	n	%
1.自分の仕事からの収入だけでまかなった	32	11.1
2.自分や配偶者の仕事からの収入だけでまかなった	192	66.9
3.自分や配偶者の仕事からの収入だけでは不十分で、仕事以外からの収入（家賃収入、配当金、年金、失業給付、育児休業給付など）や預貯金を切り崩してまかなった	51	17.8
4.自分や配偶者の仕事からの収入だけでは不十分で、親や子どもからの援助（住居や食事などの現物の援助を含む）でまかなった	10	3.5
5.自分や配偶者の仕事からの収入だけでは不十分で、公的な援助（生活保護など。現物の援助を含む）でまかなった	2	0.7

設問 2 9 生活満足度について

昨年 1 年間（2022 年 1～12 月）のあなたの生活全般について、どの程度満足していましたか？

	n	%
1.満足していた	61	21.3
2.まあ満足していた	136	47.4
3.どちらともいえない	51	17.8
4.どちらかといえば不満であった	28	9.8
5.不満であった	11	3.8

設問 3 0 これまでの学会・研修会などでの発表経験（筆頭）をお答えください

	n	%
1.0 回	195	67.9
2.1～5 回	74	25.8
3.6 回以上	18	6.3

設問 3 1 これまでの査読付き雑誌への論文掲載（筆頭）をお答えください

（日本栄養士会雑誌や学会誌、学術誌など）

	n	%
1.0 回	273	95.1
2.1～3 回	7	2.4
3.4 回以上	7	2.4

設問 3 2 これまでの栄養関連の雑誌への原稿掲載（筆頭）をお答えください

	n	%
1. 0 回	268	93.4
2. 1～3 回	17	5.9
3. 4 回以上	2	0.7

第4章 設問10にて「4. 職についていなかった」方を対象とした調査結果 【233名の回答】

設問40 昨年12月（2022年12月）時点で、職についていなかったのはどうしてですか？

*複数回答の組み合わせにより省略

設問41 設問40のうち、もっともあてはまるものを1つだけお選びください

	n	%
1.自分の知識・能力にあう仕事がありそうにないため	13	5.6
2.賃金・給料が希望にあう仕事がありそうにないため	6	2.6
3.勤務時間・休日が希望にあう仕事がありそうにないため	21	9.0
4.勤務地が希望にあう仕事がありそうにないため	3	1.3
5.希望する種類・内容の仕事がありそうにないため	16	6.9
6.今の景気や季節では仕事がありそうにないため	0	0
7.上記以外の理由で仕事がありそうにないため(※1下記に具体的にご回答ください)	3	1.3
8.仕事の探し方が分からないため	1	0.4
9.やりたい仕事があるが分からないため	2	0.9
10.今のところ、仕事をしなくても生活ができるため	10	4.3
11.妊娠・出産のため	8	3.4
12.育児・子育てのため	35	15.0
13.介護・看護のため	8	3.4
14.健康上（身体面）の理由のため	14	6.0
15.健康上（精神面）の理由のため	8	3.4
16.退職年齢を超えたため	47	20.2
17.その他（※2下記に具体的にご回答ください）	32	13.7

※1 設問40および設問41で「7.上記以外の理由で仕事がありそうにないため」とお答えいただいた方は具体的にお答えください

ブランクがありすぎて知識が追いついていないため、学生だったため、勤務地が遠方で通勤がきつくなったのと母親の認知症が進んだので2021年3月退職しました、経験不足、県外への引っ越し期間だったため、国家試験の勉強中のため、産後食物アレルギーになり、調理場に立つのが難しいため、子供の体調、実家の整理のため、就活をしているが私自身が聴覚障害を持っているためなのか面接の前に受け入れを断られるため、職場では管理栄養士はやりがいはあるが1人か2人の為かなかなか栄養についてお話ししても看護師やケアマネなどなかなか自分の意見ばかりを通して理解が得られない事が多々あり仕事を続けていく上でストレスが多いため、息子が熊本で被災に遭い避難所で頼れるシステムがなかったため食育インストラクター（食品ロス）防災士メンタルケア心理士心理専門士を学んだが活かせる場所がない、他の資格取得のために実務が必要だから管理栄養士の仕事には就いていない、大学院在学中であったため(2)

※2 設問40および設問41で「17.その他」とお答えいただいた方は具体的な理由お答えください

1に同じ、5歳、3歳、1歳の孫の世話のため、アレルギーと多血症に近い血液成分のためワクチンが受けられない、この質問は、栄養士として就業しているかの質問ですか、コロナが流行っていたので 家族から新しい仕事をするのを反対されたから、ブランクがあり 自信がない為、委託の保健指導の仕事を2021年10月まで携わっていたが 急遽夫が他界し 相続と義母の介護を理由に離職中である、開業準備のため、学生だったため(5)、看護学校に行きなおしているため 管理栄養士取得のため専門学校の3年次編入学し現在学生のため、経験不足、結婚をしたことで退職を迫られほぼ強制的な退職し 再就職活動もしたが 結婚したばかりで妊娠しそうと断られ その後妊娠したため、県栄養士会の会務に専念するため、高齢になったため、高齢者の栄養について携わる中で包括的に携わる事の出来る介護職へ転職、国家試験の勉強中のため、子供の体調、自立支援会議アドバイザーとして依頼時に単発的に仕事をして、実家の整理のため、就活をしているが 私自身が聴覚障害を持っているためなのか 面接の前に受け入れを断られるため、就職は決まっているが4月入社のため、就職活動中で4月からの採用が決まっていたため、職場では 管理栄養士はやりがいはあるが1人か2人のためか なかなか栄養についてお話ししても看護師やケアマネなどなかなか自分の意見ばかりを通そうとして 理解が得られない事が多々あり仕事を続けていく上でストレスが多いため、職場にもコロナにも先が見えず退職して独居の親が暮らす地域へ移動しましたため、職場の人間関係、退職後仕事をしていない、大学院在学中であったため(5)、単発で仕事をしている、同意なく介護員に配置転換されたため退職、特殊事情、配偶者の仕事の都合で長崎と明石の二拠点生活をしたため仕事をするのが難しく 現在は職に就いておりません、別資格で仕事に従事しているため、娘が出産し手伝うため、有償ボランティアをしている

設問42 昨年12月（2022年12月）以前に仕事をしていた経験はありましたか？

	n	%
1. あった	210	90.1
2. なかった	23	9.9

設問43 直近の勤務先（最終職歴となる前職）をお答えください

（複数勤務だった場合は主たる勤務先〔最も収入額の高いもの〕を選択してください）

	n	%		n	%
1.医療（99床以下の病院）	12	5.2	20.教育（小・中学校・特別支援学校など 栄養教諭）	6	2.6
2.医療（100～199床の病院）	25	10.7	21.教育（小・中学校・特別支援学校など 学校栄養職員 市町村採用含む）	8	3.4
3.医療（200～299床の病院）	13	5.6	22.教育（教育委員会 指導主事）	0	0
4.医療（300～399床の病院）	6	2.6	23.教育（教育委員会 行政職員）	0	0
5.医療（400～499床の病院）	3	1.3	24.教育（高等学校 学校栄養職員）	0	0
6.医療（500床以上の病院）	9	3.9	25.栄養士養成（短大、専門学校）	4	1.7
7.医療（診療所、クリニック、健診センターなど）	7	3.0	26.栄養士及び管理栄養士養成（大学、大学院）	6	2.6
8.医療（歯科診療所など）	1	0.4	27.栄養士養成以外の専門学校、短	4	1.7

			期大学、大学、大学院		
9.福祉（介護保険関連の施設〔特養、老健など〕、事業所〔通所など〕、高齢者福祉施設）	41	17.6	28.学術・研究機関	0	0
10.福祉（障害者福祉関連の施設）	1	0.4	29.フリーランス（認定栄養 CS、自営、起業）	1	0.4
11.福祉（保育所、認定こども園、児童福祉施設など）	15	6.4	30.フリーランス（自営、起業以外）	6	2.6
12.受託給食会社	11	4.7	31.食品企業	2	0.9
13.直営の社員食堂や寮などの給食施設（自衛隊、矯正施設を含む）	1	0.4	32.製薬企業	1	0.4
14.保健衛生（都道府県：本庁、保健所、保健福祉事務所）	6	2.6	33.薬局・ドラッグストア	1	0.4
15.保健衛生（保健所設置市・特別区：本庁、保健所）	0	0	34.スポーツ関連施設	3	1.3
16.保健衛生（市町村：本庁、保健センター）	13	5.6	35.非営利団体（公益活動などの団体）	4	1.7
17.保健衛生（地方衛生研究所、健康増進施設など）	0	0	36.情報サービス（新聞、出版、インターネットサービスなど）	0	0
18.保健衛生（健康保険組合、全国健康保険協会）	4	1.7	37.飲食サービス（食堂、飲食店、惣菜など・メニュー開発、配食サービスなど）	2	0.9
19.教育（幼稚園）	0	0	38.その他	7	3.0
			0.勤務経験なし	10	4.3

設問 4 4 上記以外（直近の勤務先以外）で過去に経験のある就職先をお答えください

*複数回答の組み合わせにより省略

設問 4 5 ご自身の生活費のまかない方について

昨年 1 年間（2022 年 1～12 月）、あなたご本人の生活費のまかない方について、どれが最も近いですか？

	n	%
1.自分の仕事からの収入だけでまかなった	164	70.4
2.自分や配偶者の仕事からの収入だけでまかなった	53	22.7
3.自分や配偶者の仕事からの収入だけでは不十分で、仕事以外からの収入（家賃収入、配当金、年金、失業給付、育児休業給付など）や預貯金を切り崩してまかなった	12	5.2
4.自分や配偶者の仕事からの収入だけでは不十分で、親や子どもからの援助（住居や食事などの現物の援助を含む）でまかなった	4	1.7
5.自分や配偶者の仕事からの収入だけでは不十分で、公的な援助	0	0

(生活保護など。現物の援助を含む)でまかなった		
-------------------------	--	--

設問4 6 生活満足度について

昨年1年間(2022年1月～12月)、あなたの生活全般について、どの程度、生活は満足していましたか?

	n	%
1.満足していた	36	15.5
2.まあ満足していた	111	47.6
3.どちらともいえない	52	22.3
4.どちらかといえば不満であった	21	9.0
5.不満であった	13	5.6

第5章 管理栄養士・栄養士の職域と年収との関連 【6,961名の回答】

常勤、収入情報が有効であった者 6961 人を対象とし、職域別の年収の平均金額について比較した。

表 1. 年収（単位：万円）のカテゴリ

	金額の近似値として 代入した値（万円）	人数	%
1. 収入はない	0	8	0.1
2. 1 円～50 万円未満	25	53	0.8
3. 50 万円～100 万円未満	75	39	0.6
4. 100 万円～150 万円未満	125	48	0.7
5. 150 万円～200 万円未満	175	136	2.0
6. 200 万円～250 万円未満	225	327	4.7
7. 250 万円～300 万円未満	275	621	8.9
8. 300 万円～350 万円未満	325	1,115	16.0
9. 350 万円～400 万円未満	375	996	14.3
10. 400 万円～450 万円未満	425	978	14.0
11. 450 万円～500 万円未満	475	557	8.0
12. 500 万円～550 万円未満	525	507	7.3
13. 550 万円～600 万円未満	575	312	4.5
14. 600 万円～650 万円未満	625	358	5.1
15. 650 万円～700 万円未満	675	236	3.4
16. 700 万円～750 万円未満	725	249	3.6
17. 750 万円～800 万円未満	775	156	2.2
18. 800 万円～900 万円未満	850	151	2.2
19. 900 万円～1,000 万円未満	950	63	0.9
20. 1,000 万円以上	1,050	51	0.7
合計		6,961	100.0
昨年 1 年間（2022 年 1 月～12 月）の主たる勤務先（給与支払元）での収入をお答え ください（税込みの実績。源泉徴収表の「支払金額」の欄に記載されている社会保険料・ 源泉所得税・その他の控除が引かれる前の総支給額）			

表1にて示す「金額の近似値として代入した値」を区間カテゴリの中間値として用い、性別・年齢を調整した平均値を「医療（99床以下の病院）」を基準群とし、職域間で比較した。

表2. 職域と年収（単位：万円）の関連

（2022年度就業実態調査：就業者のうち常勤で収入情報が有効だった者；n=6961人）

	n	β	95%信頼区間		p	調整済み 推定平均	95%信頼区間	
			下限	上限			下限	上限
1.医療（99床以下の病院）	412	0	基準群			362	342	381
2.医療（100～199床の病院）	682	23	9	36	0.001	385	366	403
3.医療（200～299床の病院）	356	50	34	67	<0.001	412	392	433
4.医療（300～399床の病院）	286	86	68	104	<0.001	448	426	470
5.医療（400～499床の病院）	176	128	104	152	<0.001	490	463	517
6.医療（500床以上の病院）	375	161	143	179	<0.001	523	501	544
7.医療（診療所、クリニック、健診センターなど）	239	-10	-28	8	0.264	352	331	373
8.医療（歯科診療所など）	22	10	-26	45	0.600	371	333	410
9.福祉（介護保険関連の施設〔特養、老健など〕、事業所〔通所など〕、高齢者福祉施設）	1497	-17	-29	-6	0.004	344	327	362
10.福祉（障害者福祉関連の施設）	202	24	5	43	0.012	386	363	409
11.福祉（保育所、認定こども園、児童福祉施設など）	302	26	8	44	0.004	388	366	410
12.受託給食会社	204	44	23	65	<0.001	406	382	430
13.直営の社員食堂や寮などの給食施設（自衛隊、矯正施設を含む）	29	99	45	152	<0.001	460	406	515
14.保健衛生（都道府県：本庁、保健所、保健福祉事務所）	205	204	180	228	<0.001	566	539	593
15.保健衛生（保健所設置市・特別区：本庁、保健所）	123	177	149	204	<0.001	539	508	569
16.保健衛生（市町村：本庁、保健センター）	432	99	82	115	<0.001	461	440	481
17.保健衛生（地方衛生研究所、健康増進施設など）	14	81	4	158	0.040	443	365	521
18.保健衛生（健康保険組合、全国健康保険協会）	6	79	-85	242	0.344	441	277	605
19.教育（幼稚園）	11	31	-38	99	0.380	393	323	463
20.教育（小・中学校・特別支援学校など 栄養教諭）	370	201	185	217	<0.001	563	543	583
21.教育（小・中学校・特別支援学校など 学校栄養職員 市町村採用）	103	130	99	160	<0.001	492	459	524

含む)								
22.教育（教育委員会 指導主事）	10	169	93	245	<0.001	531	454	608
23.教育（教育委員会 行政職員）	35	183	145	222	<0.001	545	505	586
24.教育（高等学校 学校栄養職員）	5	144	73	216	<0.001	506	435	578
25.栄養士養成（短大、専門学校）	100	106	64	148	<0.001	468	425	511
26.栄養士及び管理栄養士養成（大学、大学院）	242	277	249	305	<0.001	639	608	670
27.栄養士養成以外の専門学校、短期大学、大学、大学院	45	167	106	227	<0.001	529	467	590
28.学術・研究機関	15	180	79	282	0.001	542	440	645
29.フリーランス（認定栄養 CS、自営、起業）	38	-153	-221	-85	<0.001	209	141	276
30.フリーランス（自営、起業以外）	6	-259	-337	-180	<0.001	103	24	182
31.食品企業	57	98	52	145	<0.001	460	412	508
32.製菓企業	9	173	-18	364	0.077	535	343	726
33.薬局・ドラッグストア	151	31	11	50	0.002	393	370	416
34.スポーツ関連施設	13	71	24	117	0.003	432	384	481
35.非営利団体（公益活動などの団体）	30	-8	-72	56	0.803	354	289	419
36.情報サービス（新聞、出版、インターネットサービスなど）	8	20	-100	141	0.740	382	261	504
37.飲食サービス（食堂、飲食店、惣菜など・メニュー開発、配食サービスなど）	26	1	-84	85	0.990	362	277	448
38.その他（※下記に具体的にご回答ください）	125	82	47	117	<0.001	444	407	481

性別、年齢（24歳以下、25 - 29、30 - 34、35 - 39、40 - 44、45 - 49、50 - 54、55 - 59、60 - 64、65 - 69、70歳以上）

考察

2022 年度 12 月 31 日時点の会員総数 49,346 人に対して、9,391 人 (19.0%) より回答をいただいた。目標の 10,000 人には及ばなかったが、各職域の会員総数を反映した割合での回収率となった。本調査の目的であった、管理栄養士・栄養士の社会的役割の明確化、職域別、経験値別の待遇の評価を簡易な手法による解析にて評価した。医療分野に着目し考察すると、施設の病床数（規模）に応じて、かつ経験年数に応じて、年収が高い傾向を示した。しかしながら、本解析において、基本給、残業手当、資格手当の区分ができていないことや、地域性（都市と地方）、公私区分、再雇用状況など明確化することができていないため、その点に留意した上で、データを読み取る必要がある。

一方、フリーランス、クリニック、福祉分野における待遇は極めて低い傾向を示した。介護、福祉分野においては、長寿社会を支え、ソーシャルインクルージョンを活性化するためにも、食支援、栄養の管理は根幹部分であり、人材育成のみならず、一刻も早く職の環境整備に取り組まなければならないと考えられる。また、上記を含む分野におけるキーパーソンとして、認定栄養ケアステーションをはじめとしたフリーランスの方々が挙げられるが、必要性和対価が反比例しているため、栄養士会として、会員として重大な課題であることの認識と、政策につなげるための対策を講じていかなければならない。

さらに、職域別の経験年数と年収との関係を見ると、ほとんどの職域において、経験年数に応じ年収は上がっていたが、1 年未満～4 年以下の年収は「300～350 万」、40 代前後の年収は、職域によっても異なるが、多くても「400 万～500 万代」が多い状況であった（data not shown）。これについては同年代の他職種に比して、かなり低い可能性があるため、継続した調査を行い「見える化」を行うことで、処遇改善ならびに政策への提言につなげる必要性が考えられた。

今回、仕事への満足度、働きがい（ワークエンゲイジメント）および離職意向を併せて調査を行った。20%近くの方が仕事に対しての不満を感じ、50%近くの方が離職意向を有することが明らかになった。今回、業務内容、人間関係、社会環境などの要因については調査を行えていないが、経済的要因は少なからずあることが伺える。また、仕事に対して、活力や熱意を感じる事が 1 か月に数回しか感じる事ができていない方が多数見受けられたことから、管理栄養士、栄養士という専門職としての未来が危ぶまれていることが想像される。現在、管理栄養士、栄養士に求められている専門的な技能（職能）はより高度化しており、ニーズが高まっているにも関わらず、他の医療職に比して、給与待遇が適切ではないと感じられることから、他の職業との関係性についても解析する必要がある。

今回、基本調査をもとに実態の把握を中心に解析を行ったが、今後は、本データをもとに働きがいと待遇との関係、資格と待遇との関係など、さらなる解析を行いたいと考える。

実態調査ワーキングメンバー

- ・新井 英一（静岡県立大学、日本栄養士会 理事）：ワーキング委員長
- ・西岡 心大（長崎リハビリテーション病院、日本栄養士会 理事）
- ・遠又 靖丈（神奈川県立保健福祉大学）
- ・本川 佳子（東京都健康長寿医療センター研究所）
- ・斎藤トシ子（研究教育センター設置準備室長、日本栄養士会 副会長）